



はじめに

ぼくは『西遊記』が大好きです。『西遊記』は、三蔵法師が孫悟空や猪八戒、沙悟浄と経典を求めてインドへ旅をする話です。特にぼくは、黄袍怪(こうぼうかい)が三蔵法師を連れ去って虎に変えてしまい、悟空が黄袍怪を捕まえて三蔵法師を助ける場面が好きです。ほかにも、悟空がお釈迦様から逃げたくて雲に乗って遠く逃げたのに、ひと休みしようとしたら大きな柱が五本立っていて、それがお釈迦様の指だったという言伝も、とても面白くて笑ってしまいました。『西遊記』に出てくる三蔵法師は本当にいた人で、唐の時代にインドへ行って仏教の経典を持ち帰った僧です。

※三蔵法師: 602-644年。唐代の僧。玄奘三蔵と呼ばれる。629年にシルクロードで経典を求めてインドへ行き、645年に経典や仏像などを持って唐へ戻る。以後、経典の翻訳でそれまでの言誤りを正しくした。また、インドの旅を『大唐西域記』にまとめ、この時のことが後に『西遊記』とされ、『西遊記』となり、世界中に知られるようになった。



三蔵法師の玄奘三蔵法師像

ワシのネックレスがこいいじゅる。ドクロをたくさんつないだネックレスなんじゃ。このドクロはシルクロードの道中でひろったんじゃよ。

左「東帰訳経」(中国へ戻りたくさんの経典を訳す)  
 右「西行求法」(経典を求めてインドへ向かう)



「玄奘三蔵」中国切手, 2016年

『西遊記』は、三蔵法師が経典を求めて旅をしたという史実をもとにしながら作られた物語です。三蔵法師が歩いたというシルクロードは、どんな道だったんだろう。そこでぼくは切手を探してシルクロードについて調べることにしました。『西遊記』の切手を探したら、中国切手がいくつか見つけられました。

第2(2017年) 第3(2019年)

「中国古典文学名著『西遊記』シリーズ」



菩薩が龍を白馬(玉龍)に托/猪八戒が参果を飲み/沙悟浄と出会う/猪八戒三蔵を助ける



白骨夫人を根治/ 紅孩児を打ち倒す/ 車遅国で術比べ/ 女人国でひきとめられる

※『西遊記』: 唐代に玄奘三蔵がまとめた『大唐西域記』をもとに、中国で16世紀の明の時代に書かれた小説。三蔵法師が白馬の玉龍に乗って、子孫悟空、猪八戒、沙悟浄を供に従え、苦難を乗り越え、インドへ経典を求めて旅をする物語。

# 1 シルクロードはどこ?

「絲綢之路(シルクロード) 中国切手, 2012年。左から「千年帝京(長安)」「大漠雄漢(砂漠英雄)」「神秘故国(神秘的祖国)」「西域月生境(西域月夜)」「景勝地」。



シルクロード(絹の道)の名前は、中国で行われていた絹産業の貿易から入ったそうです。絹以外にも染料や金、ワイン、紙、馬やラクダなどが輸出されたそうです。シルクロードは、唐の都長安(今の西安)から始まりますが、実際には、大きく3つの道があります。

●世界遺産になった、3か国にまたがる道  
中国の洛陽から西、天山山脈をこえてキルギス、カザフスタンにまたがる「オアシスの道」の一部が登録された。シルクロード全体からすればわずかな部分だが、登録された道をすべてつなげると約8700kmにもなる。



※『キルギス・ペテリア 世界遺産』(小学館, 2021年) p98より転載

① 草原のシルクロード...  
(草原の道)

家畜とともに移動生活をする遊牧民族によって利用された道。あまり高い山はなく、ステップ(草原)地帯が広がっている。

② 砂漠のシルクロード...  
(オアシスの道)

中央アジアの砂漠地帯を通過して行く道。ほとんど砂漠なので、商人たちは集団になり、ラクダなどの動物に荷物を積み運んだ。絹が運ばれたこの道からシルクロードという名前が生まれた。

③ 海のシルクロード...  
(海の道)

海を渡って貿易を行った。航海技術の進歩によって活発になり、中国の陶磁器が運ばれた。

西安には兵馬俑があります。兵馬俑は1974年に農民が井戸を掘っていたら偶然発見されたそうです。始皇帝の陵墓を守るために作られた兵士や軍馬の等身大の素焼きの陶器が並んでいます。まだ全部は発掘されておらず、武士俑だけで約6000体発見されています。



「兵馬俑」  
中国の手  
1983年



一つ一つ顔も立ち方もちがって、なんてびっくりだよ。

学生時代に行ったよ。まだ一部しか発掘されていないのに、すごい数だったよ。





「中国古塔」種の  
内「大雁塔」  
中国切手、1994年

このほか西安には高宗と則天武后  
が眠る世界最大の墓・乾陵、三蔵法師  
が建立した興教寺、三蔵法師ゆかり  
の大慈恩寺などがあります。652年に  
大慈恩寺の境内に建立された大雁塔  
(高さ64m)は、もともと玄奘三蔵がインドから  
持ち帰った経典や仏像を保管するために造られました。

大雁塔は一番上まで登ることができ、登ると西安の町並みが一望できるんだって！登ってみたいな！！



西安には世界最大の古代城壁と詠われる西安城壁  
があります。今の城壁は、唐の長安城をもとに明の洪武  
年間(1370~1378)にレンガを積み重ねて築かれたそうです。  
城壁は周囲13912m、高さ12m、幅18mもあります。敵から  
守るための壁の西側に安定門があってシルクロードの  
出発点と呼ばれているそうです。

「西安城壁」中国切手、1997年



堞城

角台

箭楼

敌台

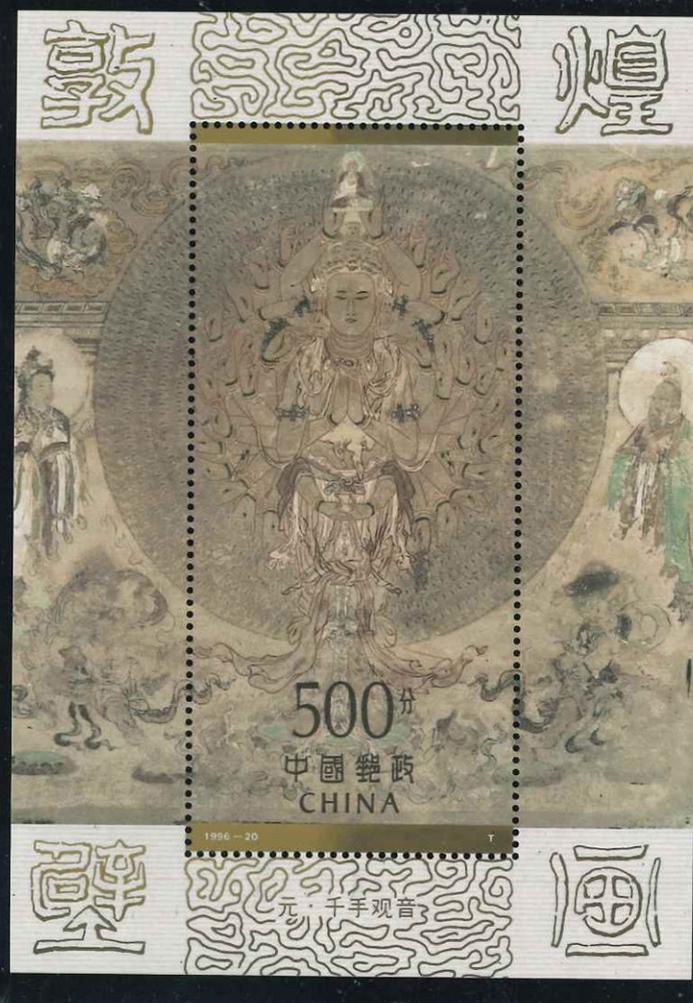
西安の北西に位置する敦煌莫高窟はシルクロードの東西の交差点  
と呼ばれています。有名なのは莫高窟です。莫高窟は1987年  
に世界遺産に登録された中国三大石窟の一つで5世紀から  
約1000年も周りに売けられ、現在大小492の石窟に彩色  
塑像(粘土や石膏を材料として作った像)と壁画が見つかっ  
ています。仏教美術では最大規模のもので、壁画の面積は  
45000m<sup>2</sup>、並べると30kmにもなるそうです。

「敦煌の壁画」の第六次中国切手一九九六年

壁画には様々なものが

描かれシルクロードを行くキャラバン隊や文殊菩薩などの仏教関連まで幅広いのが特徴です。

ここにある「敦煌の壁画」切手と小型シートは1987年に中国が発行した特別な切手シリーズです。いずれも莫高窟の壁画がデザインされています。第4次(1992年)発行の切手は唐代の壁画で「出使西域」或は、紀元前139年は漢の武帝に派遣され西域を旅した「シルクロードの開拓者」張騫たちを描いています。第6次(1996年)は、唐以降の五代から元の時代の壁画をとりあげています。小型シートの千手観音は高評価されています。



元・千手観音

ます。



西夏・供養菩薩



宋・觀音濟災



五代于圓(ボータ)王



五代・五台山圖



(第4次)中国切手、1992年 出使西域 / 乘龍飛天 / 菩薩 / 伎楽 (いざはら唐)

龍門石窟は中国河南省洛陽市を流れる伊河(黄河の支流)の兩岸に1kmほど周られていますが、中でも盧舎那仏を収めた奉先寺洞は、675年に完成した龍門石窟最大の龕(仏像をおさめる厨子のこと)です。龍門石窟の盧舎那仏は高さ17.14m、耳だけで1.9mもあります。東大寺の大仏はこの盧舎那仏をモデルに造られたそうです。

龍門石窟



唐奉先寺

「龍門石窟」中国切手 1993年

莫高窟雲崗石窟、龍門石窟は、中国の大石窟なんだから、龍門の仏像は奈良の大仏のふるまうんだね。



唐奉先寺天王踏夜叉 / 盧舎那大仏 / 北魏賓陽中洞釈迦牟尼 / 洛陽河左脇侍菩薩

敦煌の西には、タクラマカン砂漠が広がっています。砂漠の北には天山山脈が続いています。この辺りは西域のシルクロードと呼ばれていて、ウルムチは最大の都市であり、新疆ウイグル自治区の区都です。天池は、ウルムチ郊外の天山山脈にある湖です。

左から  
「湖畔勝景(景勝地)」  
「高山夾平湖」  
「雲泉飛瀑」  
「湖舞雪峰」



「天山天池」中国切手 1996年

キジル千仏洞は、中国で最も早く開かれた敦煌の莫高窟と同じくらい素晴らしい石窟寺院です。ウチ西北75kmの平城県にありムザ川沿いに3.2kmにわたってつづき、現在236窟が石窟として認められています。3世紀に造られた窟はほとんど残っていませんが現存する壁画は新疆一と言われています。壁画の内容はお釈迦様が生まれてから涅槃(亡くなる)までの話やお釈迦様が釈迦として生まれる前の話(本生物語)と古代西域にいた民族の風俗画などです。

38窟(音楽洞)の西域の楽器群は正倉院にも伝来しています。また17窟のお釈迦様の本生物語のついに捨身飼虎の絵があります。餓えて子どもに満足な食事があげられない虎のお母さんを見て、自分を食べさせる決心をして身を投げ出すというお釈迦様の前世が描かれています。



キジル千仏洞の壁画に使われているお釈迦様の青色は、ラズライトという宝石の粉が使われているんだって!!

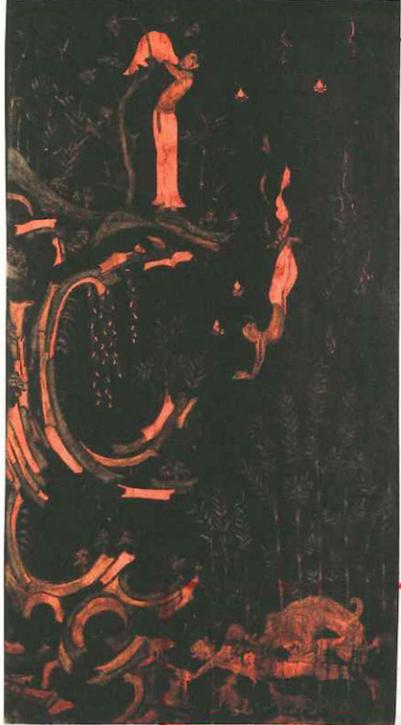


弥勒説法 飛天 / 护法天王 / 菩薩 「龜茲(キジル)石窟壁画」中国切手 2008年

厨子の向か右側の  
拡大図



虎に自分の体をさし出す  
なんてコワくてできないよ。  
この言は去隆寺の  
玉虫厨子にも描かれて  
いる言は玉虫厨子もシルク  
ロードとつながっているね



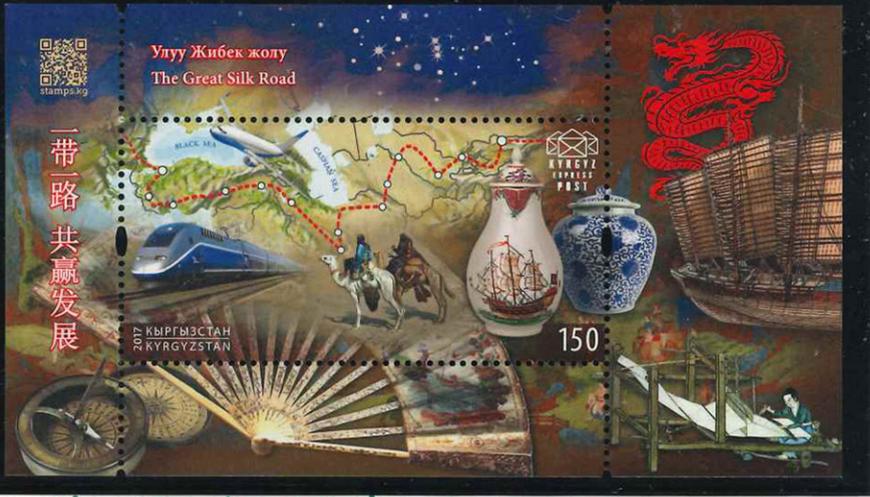
「玉虫厨子」日本切手、1989年  
(第3次国宝シリーズ 第7集)

虎に食べられてしまっている  
お釈迦様の本生物語

去隆寺大宝蔵院で  
玉虫厨子を見たよ!!  
本当にタマムシが使わ  
れていたよ!! 9083枚も  
使われているんだって



「捨身飼虎 図」(図録『聖徳太子と法隆寺』奈良国立博物館、2021年 p212より転載)



キルギス共和国は古来より  
大切な場所として栄えてきました。  
天山山脈のふもとにあり、  
「中央アジアのスイス」と言われ  
ている国です。国土の40%が  
3000m以上という山岳国家  
です。

日本人とキルギス人  
は彥貞がとてよく似て  
いるんだって。会ってみたいな。



「一带一路」キルギス切手、2017年



「中国・トルコ共同発行『中国泰州長江  
公路大橋・イスタンブールボスポラス  
大橋』中国切手、2012年

※上の切手は「昆虫シリーズ」第三集  
オガサワラタムシ、日本切手、1986年

左の切手は中国江蘇省の  
泰州市と常州市を結び長江に  
架かる常泰長江大橋。右の切手  
は、アジアとヨーロッパの間にある  
ボスポラス海峡に架かるボス  
ポラス大橋。トルコ最大の都市  
イスタンブールは「シルクロードの  
終着点」と呼ばれ、東西文化の  
交流点として知られています。

# 2 海を渡った人たち

鑑真大師像

今から1250年以上前、学生や僧たちは唐へ渡り、様々な学問を学んで書物や美しい工芸品を日本へ持ち帰りました。彼らは命がけの航海を経て、日本と唐の架け橋となりました。彼らを遣唐使といひます。

当時唐にはシルクロードを通じていろいろな国の珍しい物がたくさん運びこまれていました。遣唐使たちは、そのような物を日本に持ち帰り、その一部は正倉院に納められました。733年、聖武天皇は授戒



「揚州鑑真記念堂」

「鑑真乗渡船」



(正式な僧の資格を与えること)ができず、僧を呼ぶため遣唐使船を送りますが日本に来てくれる僧が見つかったのは9年後でした。遣唐使は鑑真(688~763)を見つけたのですが、鑑真は5回も渡海に失敗し、目の病気に罹り、来日したのは、753年のことでした。鑑真は様々な書物を持ちこみ、仏教を学ぶ場所として唐招提寺を開きました。

## ↑唐招提寺 日本初、1977年

年	出来事
六〇二	玄奘(六六四)生まれる。
六〇八	中国に唐の国がでさる。
六一〇	第一次遣唐使を派遣する。
七一〇	元明天皇都を平城京奈をへ移す。
七二八	聖武天皇息子の眞福を初て、寺後の東大寺かを建てる。
七三二	聖武天皇が難波宮天院移りまた
七三三	聖武天皇が平城京に都を戻す。
七三七	聖武天皇が重病による、天皇の回復を願って光明皇后が新薬師寺を建立。
七五二	東大寺の開眼会、第二次遣唐使派遣。
七五三	吉備真備も再び唐へ。
七五五	第二次遣唐使の帰りの船で鑑真一行が来日。
七五六	聖武天皇、天皇がてくひ光明皇后が天皇の遺品後の正倉院宝物を東大寺に納める。
七五九	鑑真が唐招提寺を開く。
七九四	桓武天皇が都を平安京京都に移す。
八〇四	第八遣唐使として空海と眞澄が唐に渡る。
八三六	第十九次遣唐使として内仁が唐へ渡る(最後の遣唐使)。
八九四	菅原道真の申し出により遣唐使の派遣が停止される。

※(参考)奈良国立博物館監修『鑑真』、正倉院、三浦書房2011年

鑑真和上像帰国巡回展「中国の手」一九八〇年



おわりに

1988年に奈良でシルクロード博覧会があったので、その時の記念切手は「敦仁皇莫高窟」正倉院宝物の一部が選ばれていて、とてもきれいです。

平城京跡  
東大寺  
法隆寺  
薬師寺  
五輪塔



薬師寺



薬師寺の玄奘三蔵院へ行た時、平山郁夫先生の「大唐西域壁画」を見ました。とてもきれいでした。



法隆寺

20世紀デザイン切手シリーズ16集には、平山先生の「敦仁皇莫高窟」と法隆寺が選ばれていて、埼玉の慈恩寺(岩槻区)に玄奘三蔵の遺骨が分骨されていると知って、玄奘塔(霊骨塔)へお参りに行きました。慈恩寺郵便局の風景印は日本で唯一、三蔵法師像を入れています。記念に押せてうれしかったです。



法隆寺



法隆寺



慈恩寺



慈恩寺の玉音堂に会えたよ



玄奘塔



(主な参考文献)『学問と日本』集英社1989年/『知る?正倉院』朝倉書房2011年/『玄奘三蔵と薬師寺』薬師寺、2015年/『もっと知りたい!薬師寺の歴史』東京美術、2020年/『聖徳太子と法隆寺』奈良国立博物館、2021年/『キッス!パティオ世界遺産』小学館、2021年/『第75回正倉院展』奈良国立博物館、2023年など。